

2014 The 20th Annual Meeting



ヒトと動物の関係学会

# 第20回 学術大会

2014年 3月 8日(土)・9日(日) シンポジウム/口頭発表/ポスター発表

●会場 東京大学 駒場キャンパス13号館1313教室 (〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1) 於

**3月8日 (土)**

記念シンポジウム

**「これまでと**

**これからの HARs を考える」**

第1部 HARs 発足と発展の経緯

林良博 (初代会長/国立科学博物館)

奥野卓司 (関西学院大学)

井本史夫 (井本動物病院)

第2部 今後の HARs を考える

横山章光 (帝京科学大学)

加藤謙介 (九州保健福祉大学)

**3月9日 (日)**

学会シンポジウム

**「犬はどこまで理解されたのか」**

座長: 南佳子 (みなみ動物病院)

「犬の性格を遺伝子から見る—作業犬の選択のために—」

村山美穂 (京都大学野生動物研究センター)

「身体障害者補助犬と社会の受け入れ」

甲田菜穂子 (東京農工大学)

「ここまでわかったイヌの行動 (仮題)」

荒田明香 (東京大学)

**3月8日 (土)・9日 (日) 口頭発表/ポスター発表**

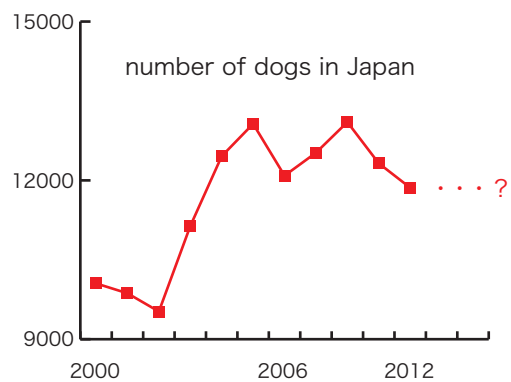


Eye contacts

Talking

perceive

notice



always each other = Communication

